



文責 森本 聡一郎

心身の健康維持。進路目標の決定

普通であることを最低限のレベルと心得よう。

その最低限のレベルをどこまで上げていくかが課題です。

1. 「次に進むためにしておくべきこと」

卒業式を終えた3年生からのメッセージ

- 英単語はしっかり覚えたほうがよい。覚えているのと覚えていないのでは長文の読み具合が全く違う。受験前には本当に時間がないので、早めにやっておくほうがよい。
- 勉強は掛け算ではなく、足し算。
- 部活動をしている人は、焦らなくても最後までやり切ったほうが、絶対受験では良い方向に傾く。習慣的に行動する癖がつく。リスニングは内容を覚えている字幕なしの映画がお薦め。2年生のこの時期にして英語を聞く癖がつき、会話表現も憶えた。
- 学校の授業内容を理解しておく、試験前に焦らなくても済む。当たり前のことだが、この当たり前を当たり前にするには想像以上に難しい。
- 先生や先輩の助言は素直に聞き入れる。英単語の力をなめない。
- 大学に合格するのに必要なのは学力でもましてや今の君の偏差値でもない。すべては努力で決まる。夏休みは1日15時間勉強した。
- 大体の先輩が「英単ぐらいやっとけ」っていうし、共通テストを控えたほとんどの受験生が「英単ぐらいやっとけばよかった」って11月ぐらいから言い出す。お前らも絶対に言い出す。後悔したくなければ最低限“英単”はやっとけ！
- 毎日学校に来ること。これが一番大切だと思います。友達と一緒に勉強したりして、家で参考書とにらめっこするより、学校の授業で先生の話聞くことです。
- 小テスト、毎回合格していますか？ 朝見て受かればいいやって考えでは、受験勉強なんてできないと思います。部活が忙しくて、家に帰ったら疲れて寝てしまうのは仕方がないと思います。でも、小テストの勉強や週末課題、予習ぐらいきちんと取り組む時間は必ずあると思います。3時間ダラダラ過ごすのなら、そのうち2時間を勉強に変えてみたらどうですか。最初から勉強を集中してやり続けることは難しいとは思いますが、だんだん慣れて集中できる時間は増えてきます。早い時期から机の前に座る癖をつけたほうが良いと思います。
- 「自分は今のままでは合格できない。まだまだ頑張らないといけない」と謙虚な姿勢を持つことです。
- 「やれば出来る」はやらないのと同じ。後悔したくなければ早く変わることに。
- 私立文系の方は、3教科だから夏休みからでいいやとか、春休みは遊んでいたいという考えは止めておくべき。そんなんで難関私学に合格できるほど受験は甘くありません。
- 周りの環境は大切です。私の周りは意識が高くして上を目指して頑張っている人がたくさんいたので、大いに触発されて自分も頑張ることができました。やる気のない雰囲気身を置けば、きっと頑張れていなかったと思います。

- 部活を頑張れない人は、勉強もきっと頑張れないと思います。
- 継続的な勉強が大事。10時間勉強しても1日限りでは実力にならない。30分でもいいから毎日勉強すること。英語・古典は音読が必要。口に出せないものは基本的に読めない（身につけていない）と考えること。また、どの教科にせよ問題の解説は熟読することが大切。
- まじめに勉強して本当に損はない。3年になってからも勉強できる時間はあるけれども、その時間では足りないと思っていた方がよい。また、勉強の成果が出るのは思っているより遅いから、特に暗記ものは自分のペースで始めておくのが良い。



「無理 → 妥協 → 満足」は三大禁句

天性だけでやっている者は、壁にぶつかるたびに諦めてしまう。

2. 「私の恩師」 4組担任 片山 周の場合

恩師と呼ぶには相応しくないかもしれないが、私にとっての『師』は間違いなく父だと思っている。とはいえ、何かを教えてもらった記憶はない。父は私が小学生の頃から徐々に聴覚を失い始め、私が高校生の頃には全聾（全く耳が聞こえない状態）になった。ゆえに、元から家では物静かであったが、会話は必要最低限しかしなかった。

父の仕事は平安文学の研究。趣味は人形浄瑠璃で、実家にはその人形がいる（正直ちょっと怖い）。全聾となった後も目で鑑賞を楽しんでいた。昔はクラシック音楽を好み、独学でフルートを吹いていたが、こちらは聴力を失ったことでできなくなってしまった。家でも基本的に研究、研究、研究…。家事はもちろんのこと、育児にもあまり関与しない。ファッションにも無関心で、自分の服を自分で買っているのを見たことがない。父は全聾であることに加えて、重度の喘息を抱えている。入院回数は数えきれたものではないし、母も医者から「今夜が峠です。」と2度言われた。耳についても手術をすれば回復を見込めるそうだが、手術に体が耐えられないとのことで断念した。病気はもちろんやむを得ないことだが、理想の父、夫とは程遠い存在と思われても仕方がない。

私が幼い頃、カチューシャを付けて「可愛い！」と褒められていた妹に嫉妬し、自分もそのカチューシャを付けて母に「可愛い？」と聞いたことがあったらしい。そのとき母は、父に「周がオカマになったらどうする？」と聞いた。すると父は真面目な顔で「なればいい。その代わりとびきり美人のオカマになれ！」と言ったそうだ。後日この話を聞いたとき、とんでもないことを言う父親だと思ったが、今ではその意味がよくわかる。「自分がそれをやると決めたなら、中途半端にやるな。周りにどう言われようともそれをやりきる大人になれ。」と言いたかったのだろう。厳しい境遇にありながらも、自分の研究を突き進める父だからこそ言えたセリフである。

数年前、父がオペラ×能狂言×人形浄瑠璃の融合作品の脚本を書いていた。原作と、昔聞いた音を頼りに。しかもそれはそもそも父の本職ではなく、趣味が高じた結果であった。もちろん私も公演を観に行っただが、とても耳が聞こえない人の作品とは思えなかった。

現在父は定年を迎え、悠々自適に研究をしている。「まだやるのか…。」と思うが、きっと終わりはないのだろう。冒頭で話したように、父から言葉で教わったことはほとんどないが、自分の決めた道を歩き続けるその背中には、間違いなく私にとって最も偉大な『師』である。

※裏面あり

3. 「今後の予定」

3月	2日(月)	答案返却(1~4限) 午前中授業
	3日(火)	球技大会 午前中授業
	4日(水)	午前中授業(以後、基本的に時間割表 3~6限の用意) 3限 探究(発表準備) 4限 HR(今年度の振り返り)
	5日(木)	探究 Day(1~4限)、専門学校ガイダンス
	6日(金)	①②授業 ③④手話講座
	9日(月)	①②授業 ③ボランティアデー ④HR(進路)
	10日(火)	①②授業 ③大掃除 部活可
	11日(水)	生徒休業日(~14日) 15日部活可
	16日(月)	教科書購入、個人写真撮影、HR
	17日(火)	①生徒総会②ボキャコン(英語)③④大掃除・ワックス掛け 岡山学芸館高校訪問(STEAM 探究)
	18日(水)	①~③授業 ④HR
	19日(木)	①ボキャコン(国語) ②学年集会 ③④進路講演会
	23日(月)	大掃除、終業式、HR 午後 合格者説明会



※ 2 3 日は 1 年間の卒業式。遅刻・欠席のないように！